

## ⑪ 自己導尿指導

### a. 自己導尿における姿勢のポイント(図1,2)

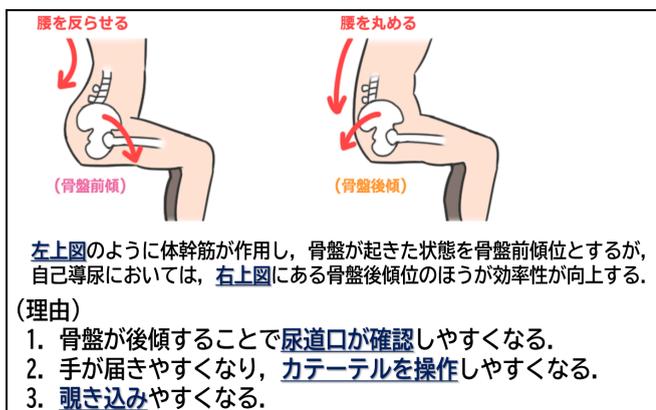


図1. 自己導尿における姿勢のポイント

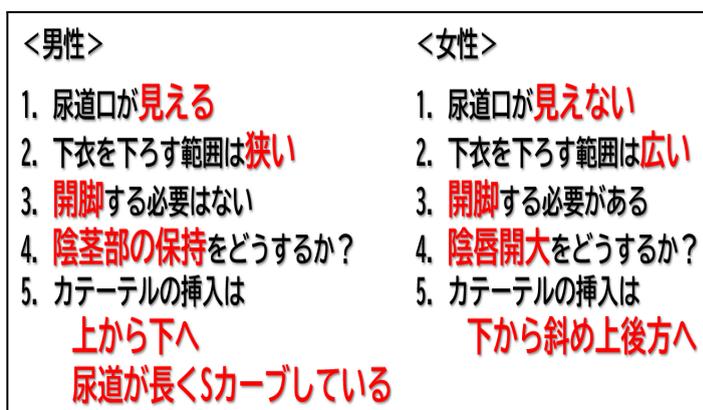


図2. 自己導尿における男女の動作の違い

### b. 様々なカテーテルの持ち方(図3)

- i. 手指機能に問題がある患者に対しては、様々なカテーテルの持ち方があるため、つまみや把持が困難であってもカテーテルを挟むことで固定することができる。

### c. カテーテル把持できない方への自助具(図4)

- i. 自助具の作成する場合があります、カフを手部に装着することによってカテーテル操作が自身で行えるようになる。
- ii. 写真にあるカフは、ジュラルミン製のカフとスプリント用のアクアプラスト製のカフで、既製品ではなくオリジナル自助具で患者の手の型に合わせて作成する。
- iii. ジュラルミンは、特殊な金属で車のホイールのボルトなどに使用されており、頑丈で軽量であることが特徴である。デメリットは頑丈なだけに加工に時間を要する。
- iv. アクアプラストは熱により加工がしやすく特殊な形にも対応できる。デメリットは、耐久性の問題がある。
- v. 素材自体の価格は、大きく変わらないが、1枚5,000円程度と高価である。



図3. 様々なカテーテルの持ち方



図4. カテーテル把持できない方への自助具